

田中塊堂 （法名） 書家、寫經學者、文學博士。明治二十八年岡山縣小田郡山田村生れ、昭和五十一年二月一日歿（一九五〇—一九五七）。本名英市、字潤東。別號田居、砂六齋。大正七年大阪に出て俳人生園不この繼嗣とゆゑも、書道にも志して山本竟山、川谷尚亭の師事し精行に精通。泊園書院に入りて藤澤黄城の就き詩文を學ぶ。傍ら古碑法帖により研鑽の努力、次で古寫經研究に従事して斯界の第一人者となつた。餘技は俳句も能くす。

著書に、『寫經學習法』（昭和十二年一月五日雄山閣）『書道學び方叢書』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）、『寧樂寫經』（昭和二十二年一月）『古文化叢刊』（一）』

